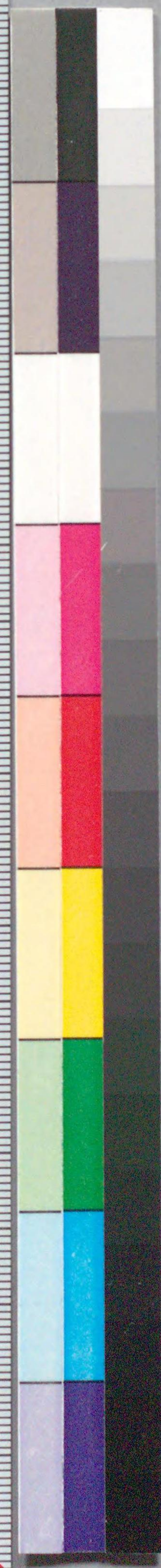




国立国会図書館 義光夜功珠 3巻 208-604



ガラス使用

義光夜功珠

珠

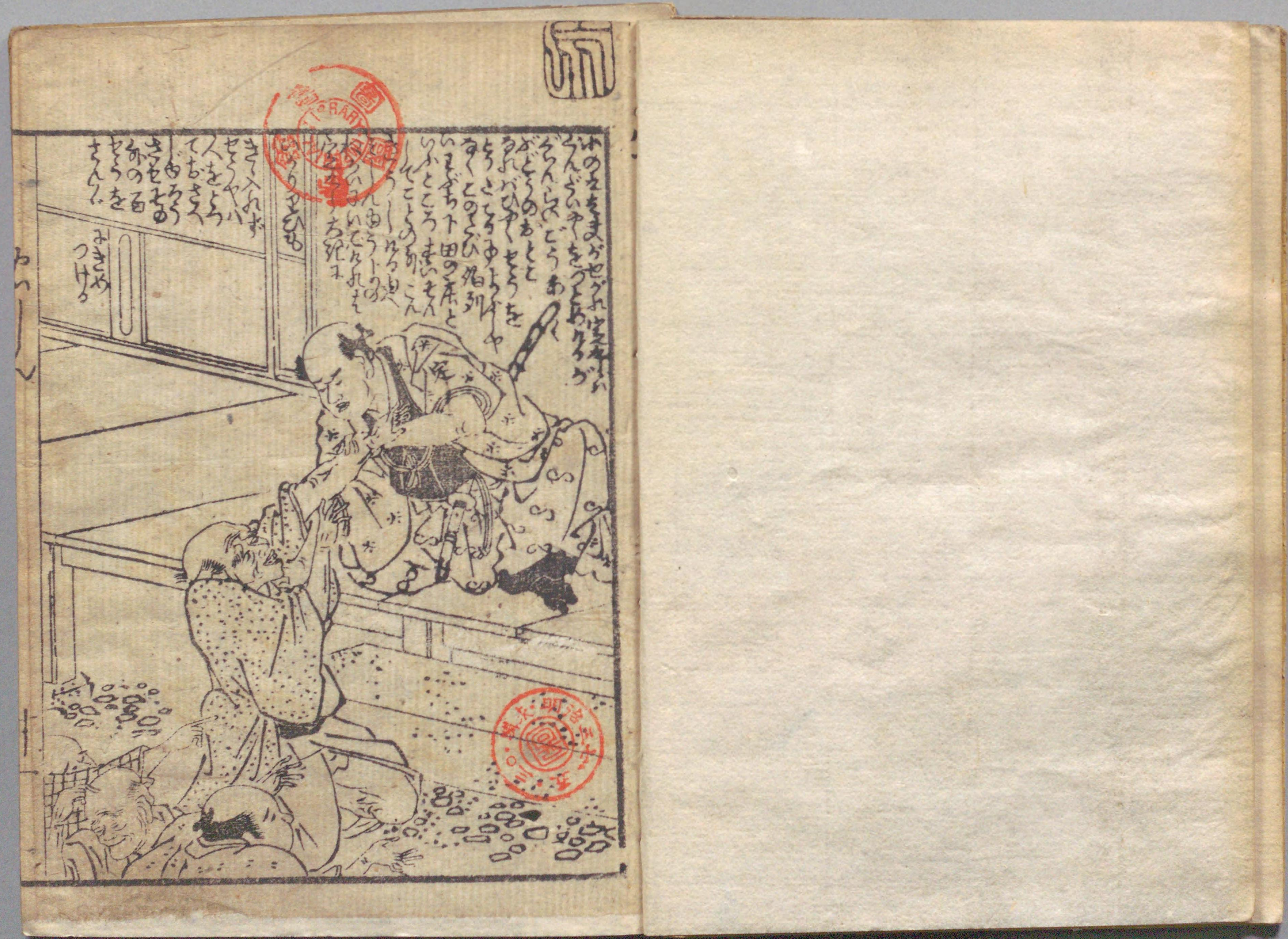
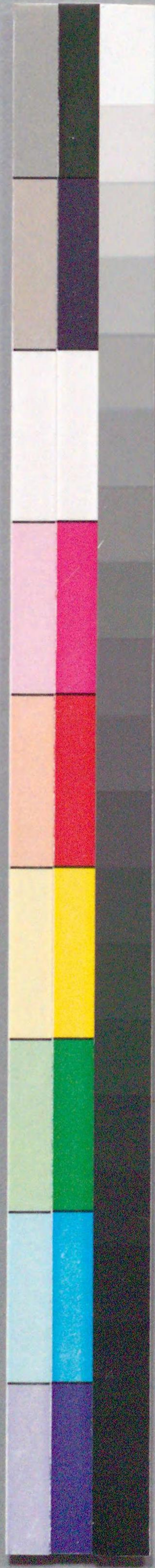
一九

會

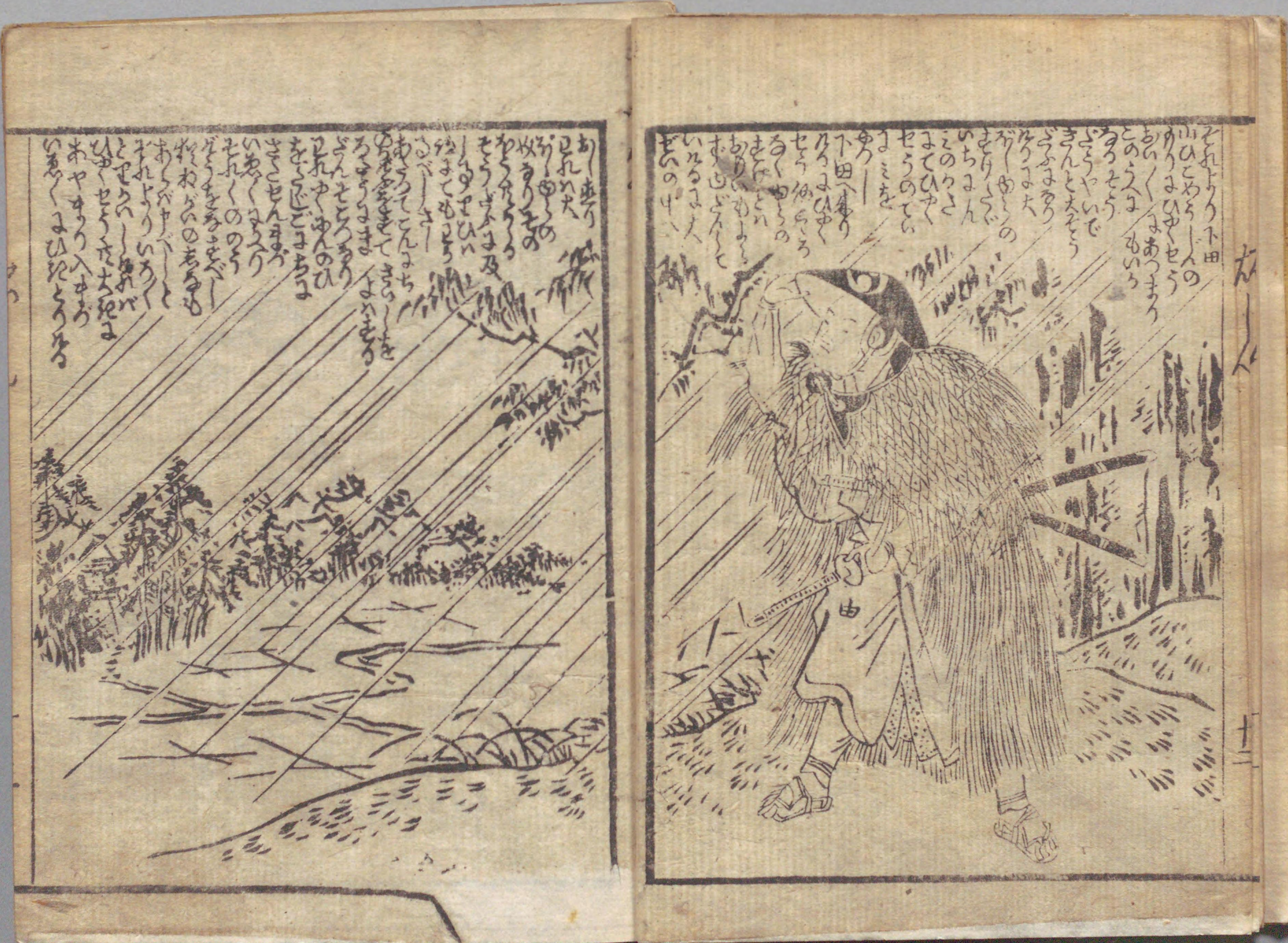
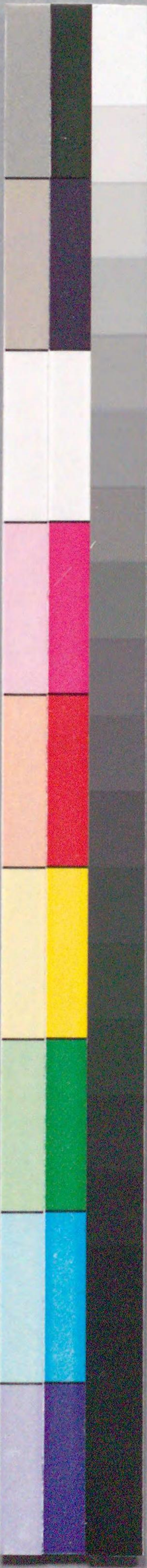
全三冊

第三十三番
寛政十

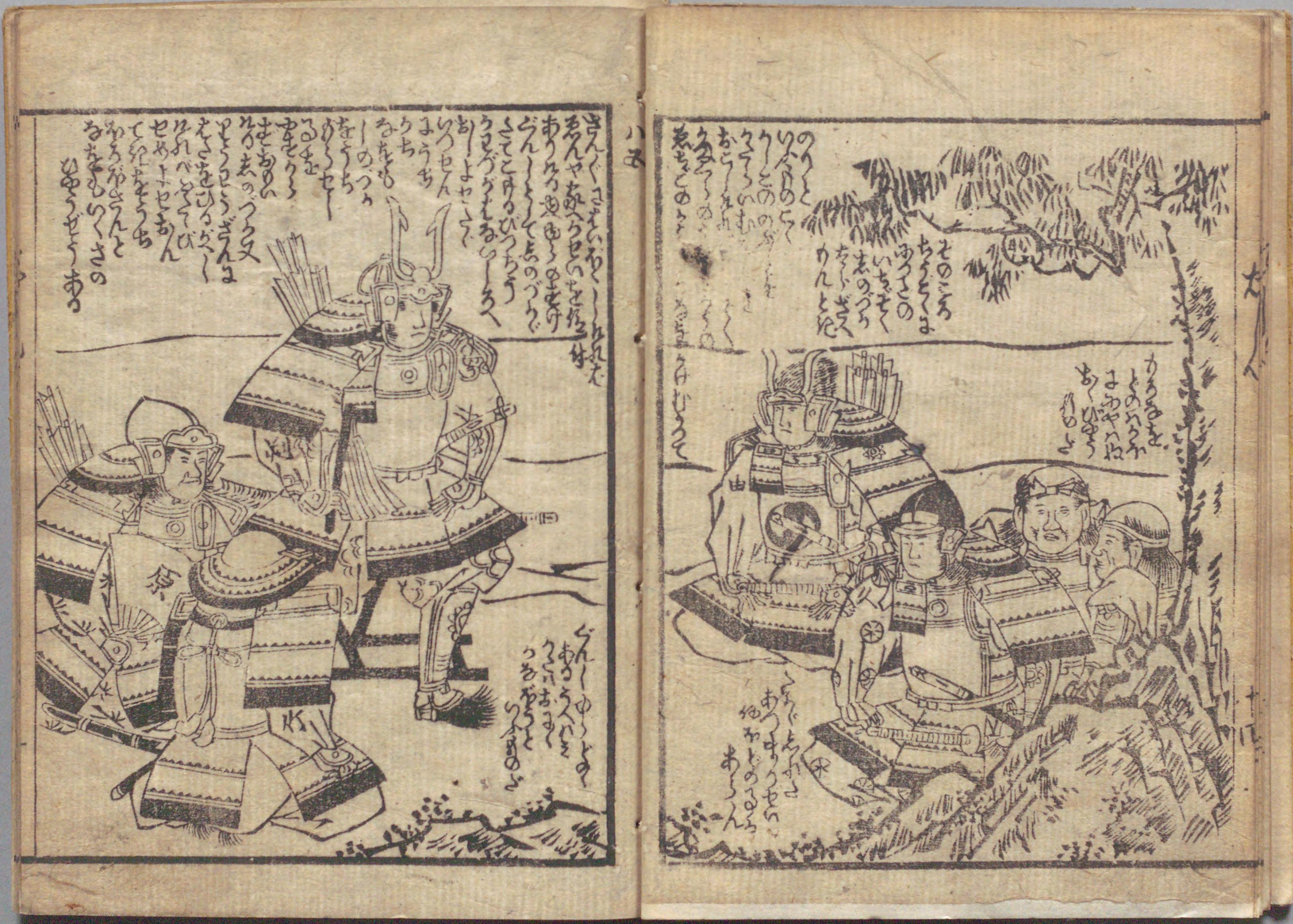
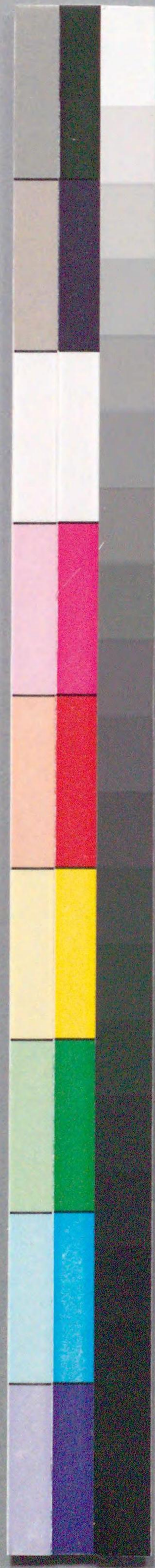
208
604















あんなやんけんけんめいのま丹が
かのあんなのうらなよがくちの
せりやうをけんげらぬる
せりやうをけんげらぬる
あんなやんけんけんめいのま丹が
かのあんなのうらなよがくちの
せりやうをけんげらぬる
せりやうをけんげらぬる

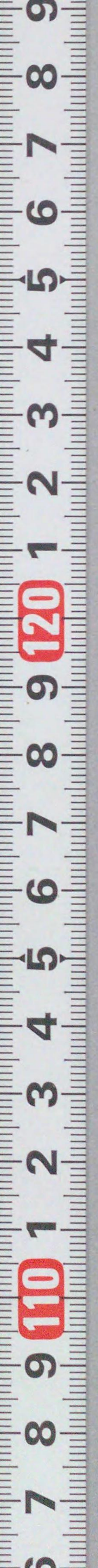
あんなの
けんけん
けんけん
けんけん



あんなやんけんけんめいのま丹が
かのあんなのうらなよがくちの
せりやうをけんげらぬる
せりやうをけんげらぬる
あんなやんけんけんめいのま丹が
かのあんなのうらなよがくちの
せりやうをけんげらぬる
せりやうをけんげらぬる

あんなの
けんけん
けんけん
けんけん

6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10







6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9









くろのめりるふいあいのの
すくぬるんやをめぐり
がらきじりこのたのすうは
あつひをもまらうが
ちうやんらんらを
すてよめくわ
ちやんくまこの
ちやんくまこの
らうんあつべん
まきちやんくのうん
あつをささいいささ
きさてめりるをさへ
りりこて
又たのせいあつも
いつぞやよりこの
やくこめらうらう

きんめり
きんハもだ
ーやとあつて
りりこて

おんぐまうーん
あつらうしかりあつど
のやんてやんあん
るいをささめん
あつめあつ
まてけさへ
あつらう



八十四



かるるが
 とるり
 中ねのり
 ころさのそ
 みるやのそ
 てうらん
 たうをてし
 ひれを
 あうら
 かん
 し
 てる

ハナ



をで
 よら
 自ら
 さご
 肥十
 りか
 あり
 ヤウ
 きろ
 つい
 りん
 のま
 まる
 さい
 のり
 のり

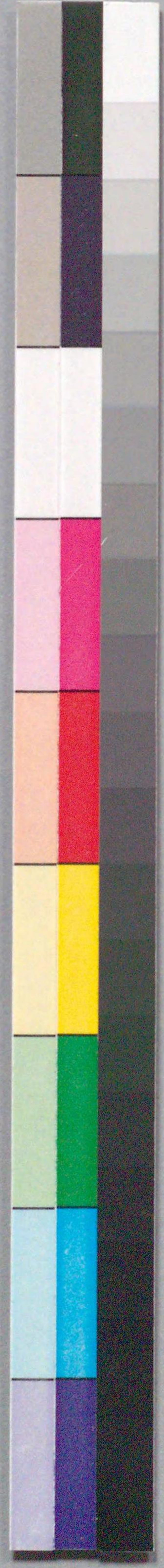


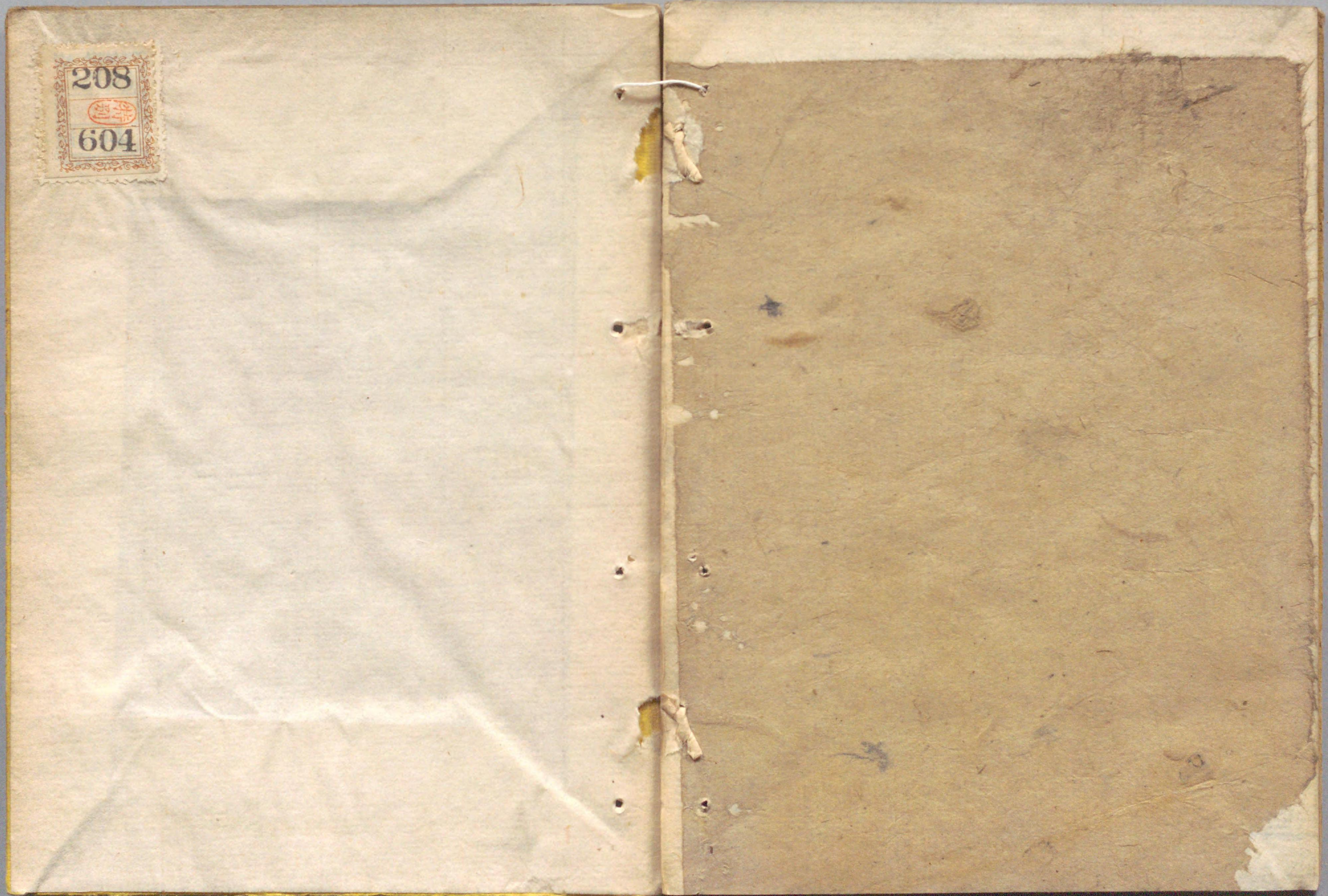
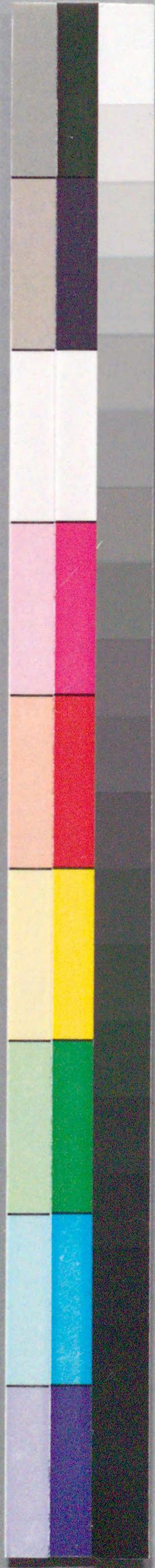
26



十偏斎一九画(黄)

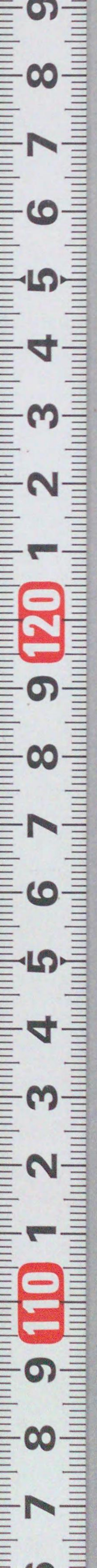
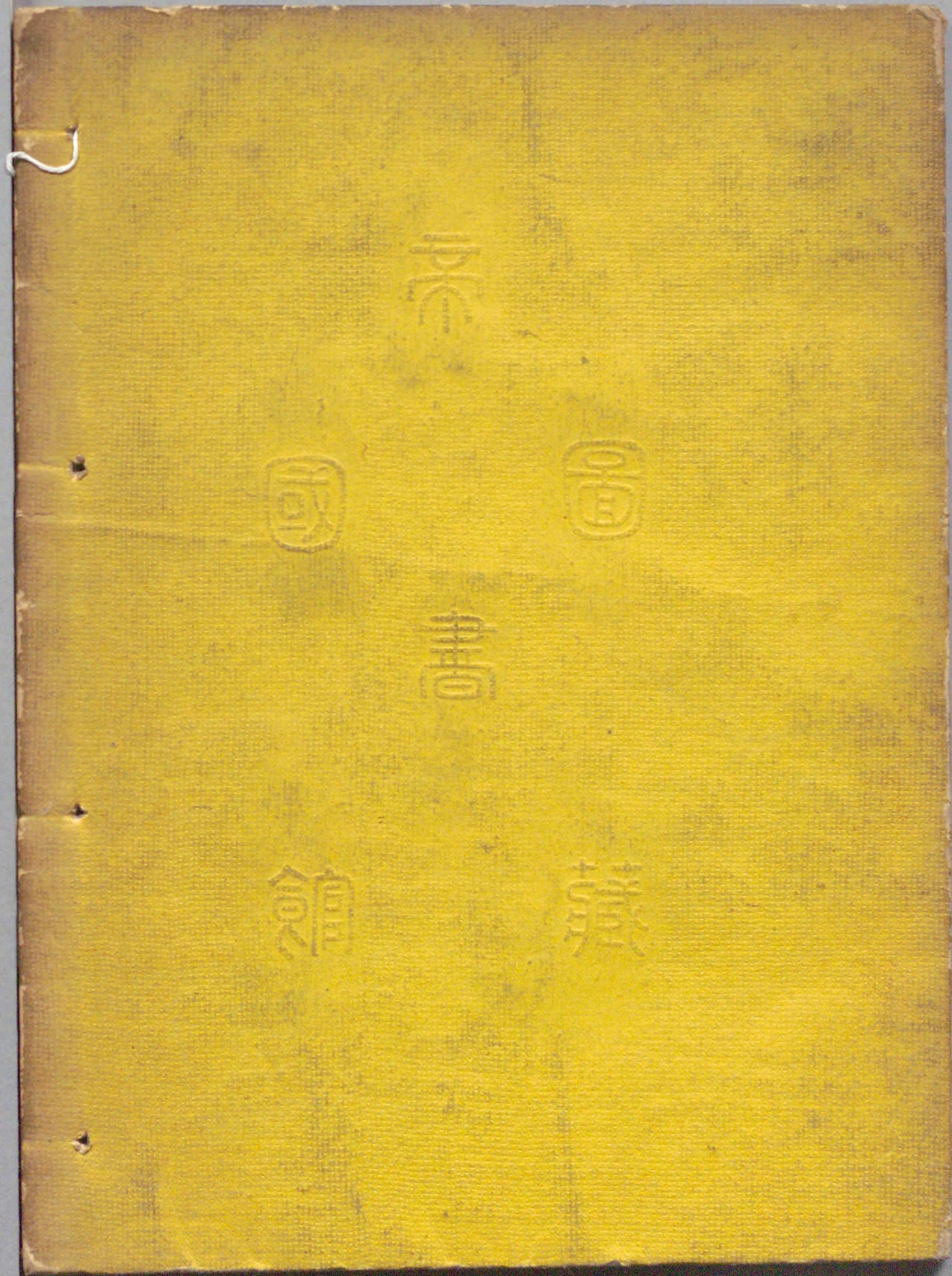
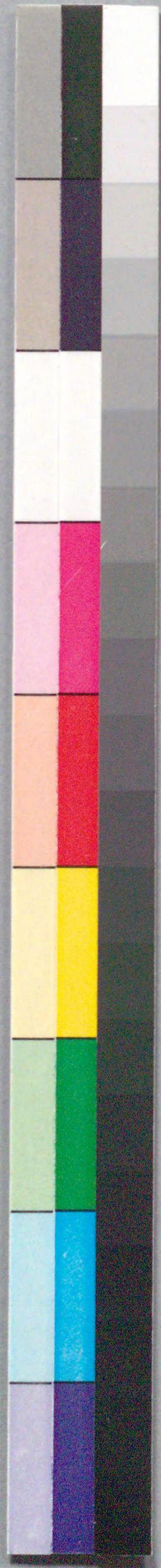
法己
袖ひる
赤の
子





国立国会図書館 義光夜功珠 3巻 208-604

ガラス使用



国立国会図書館 義光夜功珠 3巻 208-604

ガラス使用